

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について
2. 日時：令和2年9月29日 17:30～18:00
3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
岩田安全管理調査官、中野上席安全審査官、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官

三菱重工業株式会社：
原子力セグメント 機器設計部 主席プロジェクト統括 他5名※
5. 要旨
 - （1）三菱重工業株式会社（以下「三菱」という。）から、本日の審査会合（第3回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において、以下のとおり、議論された事項の確認があった。
 - 型式証明における申請範囲と審査対象を明確に分けて整理を行うこと。また、今後、後段審査との関係において詳細設計の評価を行うための必要となる条件を具体化すること。
 - カップホルダの貯蔵方式については、これまで許認可実績のない知見であることから、兼用キャスクの構造健全性評価について説明する際は、実験的事実に基づき、カップホルダ型架台上の兼用キャスクの挙動も含めて説明すること。なお、説明に用いる実験的事実等の知見については、第三者による検証や公開の有無を明確にすること。あわせて、動的解析の評価を行わなくてもよい理由についても説明すること。
 - （2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。
 - （3）三菱より、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。
6. その他
提出資料なし

以上